

# 高知県立 高知城歴史博物館

# OHAKU NEWS

Volume  
**18**

**展示室開室スケジュール** ●令和4年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧頂けます。

3F	8月	9月	10月
総合展示室1 土佐藩の歴史	8月5日(金)～	第3期 ～10月10日(日)～	第4期 10月21日(金)～
総合展示室2 大名道具と土佐の文化		第2期 ～9月26日(月)～	第3期 10月7日(金)～
特別展示室 企画展	土佐藩歴代藩主展 ～9月4日(日)～	9月17日(土)～	没後150年 山内容堂 ～鯨海酔侯の見た幕末維新～ 前期 ～10月30日(日)～

**企画展**  
山内容堂  
関連行事

**連続歴史講座 「“山内容堂”を読み解く5つの視点」**

参加費 無料 受付開始日 9月17日

会場 高知県立高知城歴史博物館 1階ホール ※オンライン講座(ZOOM使用)とのハイブリッド開催  
定員 ホール聴講 各回40人(オンライン聴講 各回100人) 申込先着順  
申込方法 申込専用アドレス yodo150@kochi-johaku.jpまたは受付・電話・FAXにて、参加を希望される講座名と、以下の情報を当館までお知らせください。  
●ホールでの聴講希望の方/申込者の①氏名 ②住所 ③電話番号  
●オンライン聴講希望の方/申込者の①氏名 ③電話番号 ④メールアドレス

**1/ 容堂の自己像と評価**  
10月16日(日)14:00～15:30  
講師/高知県立高知城歴史博物館 藤田雅子(本展担当学芸員)

**2/ 「親友」松平春嶽が見た山内容堂**  
11月5日(土)14:00～15:30  
講師/福井市立郷土歴史博物館 山田裕輝氏

**3/ 朝廷と容堂**  
11月6日(日)10:00～11:30  
講師/宇和島伊達文化保存会 仙波ひとみ氏

**4/ 宗城と容堂**  
～宇和高伊達家伝来資料に見る姿～  
11月6日(日)14:00～15:30  
講師/宇和島市立伊達博物館 伊藤絵理氏

**5/ 土佐藩士・志士たちと容堂**  
12月11日(日)14:00～15:30  
講師/高知県立坂本龍馬記念館 三浦夏樹氏

●各行事の詳細は当館ホームページをご覧ください、お電話にてお問い合わせください。

**城博講座** 9月～11月

9月10日(土) 古文書講座「古文書に慣れ、親しむ②」第3回「江戸幕府文書を読む(安政の大獄関係)」  
講師/水松啓太

9月24日(土) 保存修復講座「博物館展示を支える保存の仕事」第1回「資料保存と展示活動に潜むリスク」  
講師/田井東浩平

10月8日(土) 歴史講座「歴代藩主からみる土佐の歴史」第2回「藩政の安定期から動搖の始まり(5代豊房～8代豊登)」  
講師/横山和弘

11月12日(土) 古文書講座「古文書に慣れ、親しむ②」第4回「近代文章を読む(海南学校)」  
講師/高木翔太

会場/当館1階ホール 定員/40名 時間/10:00～11:30 参加費/無料

城博講座は 事前申込制(先着)です 申込方法 電話・FAX・当館受付のいずれかでお申し込みください(住所・氏名・電話番号)。  
●各回、開催月の前月1日から受付を行います。  
※申込多数につき、当日ご参加いただけなかった方のうち、希望される方には講座の配付資料を無料でお送りいたします。

**お得な年間観覧券がオススメです**

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヵ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券/2,000円

**各種会員制度もご利用ください。**

**友の会** 年間観覧券と様々な特典が付いた会員制度です。  
年間 3,500円

**情報会員** 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。  
年間 500円

友の会、情報会員の詳細はこちら

**開館時間** 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は開館の30分前まで

**休館日** 年末 [12月26日～12月31日] ※展示室の休室スケジュールはホームページをご覧ください

**観覧料**

- ◆500円(400円) ※( )は団体20名以上の料金
- ◆企画展開催期間中…………… 700円(560円)
- ◆年間観覧券…………… 2,000円
- ◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
- ◆高校生以下は無料  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料。  
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。

**交通アクセス**

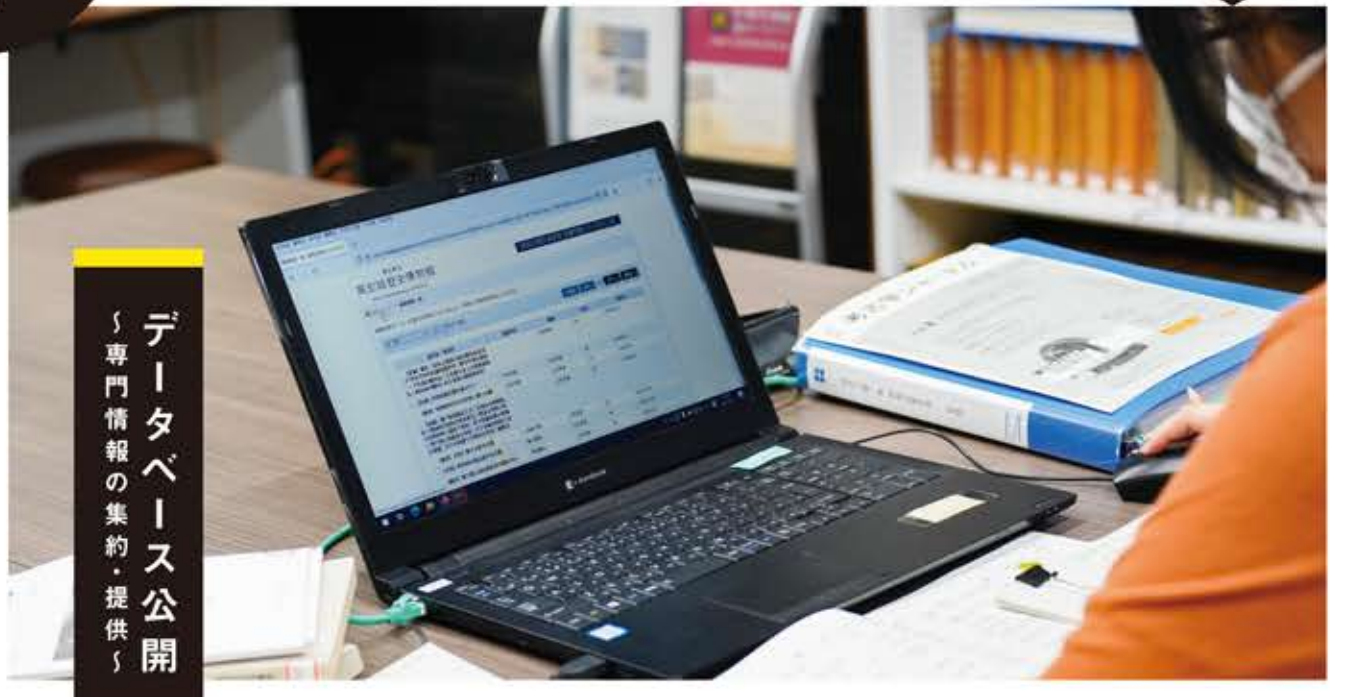
- ◆お車を  
ご利用のお客さま 高知自動車道高知ICから約15分。一般来館者用の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり。
- ◆JRを  
ご利用のお客さま JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車、乗り換え(鏡川橋または朝倉、または、いの方面行き5分)、高知城前下車、徒歩3分。
- ◆飛行機を  
ご利用のお客さま 高知龍馬空港からは高知市内と空港間を結ぶ連絡バスをご利用頂けます。JR高知駅行きは「はりまや橋」で、県庁行きは「県庁前」で下車してください。

高知県立  
**高知城歴史博物館**

〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5  
TEL.088-871-1600  
FAX.088-871-1619

高知城博 検索

発行日/令和4年(2022)8月2日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館



「データベース公開」  
専門情報の集約・提供

当館では、「地域文化施設支援事業」を地域連携のひとつに位置づけ、県内各地域の文化活動の充実を図ることを目的とし、様々な活動に取り組んでいます。

その一環として、令和4年度より「高知に関する研究・文献目録データベース」の公開を開始しました。

これは、展示準備やレファレンスといった文化施設の諸活動に役立つ専門情報を集約・提供するもので、明治元年以降、約150年分の「歴史」・「考古」・「民俗」の高知に関する研究・文献情報(書籍・論文・資料集・報告書・目録等)を網羅的に収集し、一箇所にまとめて検索できるようにしたものです。

本データベースで扱う情報は、県内外の主要なデータベースや文献目録に加えて、高知県内の史談会や研究会の逐次刊行物など、多種多様な媒体から集めています。現在、十数万件の情報が集まっており、データ整備が済んだ情報から順次公開予定です。

また、これ以外にも令和元年度以降の情報を単年毎にまとめた『高知に関する研究・文献目録(歴史・考古・民俗)』を刊行し、県内市町村の文化施設・図書館・教育機関等への配布や、当館1階ミュージアムショップでの販売など、様々な形で高知に関する研究・文献情報の公開を始めています。

博物館や大学など学術・研究機関だけでなく、県内で地域研究をしている人たちにも幅広く使えるデータの集積となり、全国的にみても大変珍しい活動かと思われます。当館ホームページ上で、どなたでも気軽に検索できますのでぜひご利用ください。

高知県立高知城歴史博物館ホームページ  
https://www.kochi-johaku.jp/  
高知に関する研究・文献目録データベースはこちら ▶



**没後150年 山内容堂** 前期 9月17日(土)～10月30日(日) 後期 11月2日(水)～12月11日(日)

お知らせ 8.11(木)～8.16(火) 8:00～18:00 (展示室への入室は17:30まで)

お盆の期間は開館時間を変更します。



# 逸品

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主のお道具など、6万7千点の土佐藩山内家資料をはじめとした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から、学芸員がオスメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

# 山内豊信追贈位記

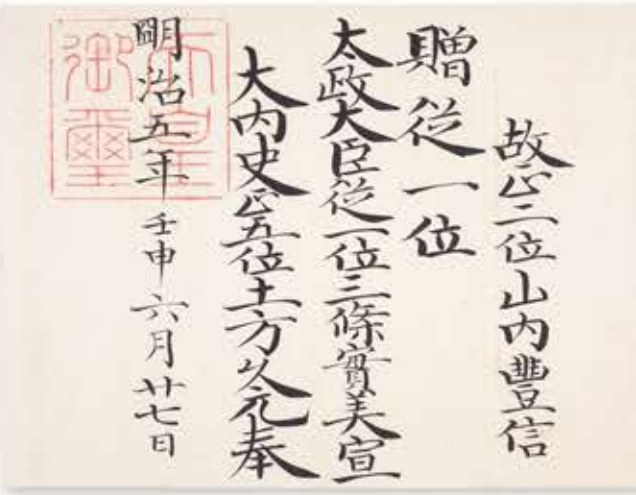
やまうちとよしげ  
ついでういき

今を溯ること150年前の明治五年六月二十一日(西暦1872年7月26日)、東京橋場の別邸で山内容堂(1827-72)容堂は号、諱を豊信と言つた。この世を去りました。

山内家の分家・南邸に生まれ、土佐で少年時代を過ごした容堂。彼が15代土佐藩主となったのは、相次ぐ藩主の急逝という、御家存続の危機を乗り越えるための苦肉の策でした。それが幕末という動乱の時代を背景に、大政奉還を建白し、江戸幕府の終焉に際し、徳川家救済のために力を尽くすことになる。誰しも想像しなかったことでしょう。

明治元年(1868)に新政府で議定に就任した容堂は、歴代土佐藩主の官位(従四位侍従または少将)をはるかに超える、従二位権中納言に昇進します。翌年病気を理由に全ての職を辞した容堂に、正二位位と終身禄五千石が授けられました。療養の甲斐無く死を迎えた彼の葬儀のために、明治天皇は儀仗兵を派遣、墓前に勅使を遣わして従一位の位を贈ります。

一豊以来の歴代藩主達の功績に傷をつけないこと、それが容堂の行動を律する基準でした。地下で言葉が発することができたなら、きっと彼一流の皮肉を言ったことでしょう。



資料学芸課 藤田雅子

# 豪放磊落、氣宇壮大。維新変革の立役者・山内容堂。

重要文化財10点、初展示資料多数。  
一級の歴史資料を通じ、激動の幕末維新史を振り返る企画展。  
15代土佐藩主、山内豊信(号容堂)。  
大政奉還を建白した人物として歴史に名を残す容堂の事蹟を、県内外所在の約1000点の資料により通覧。

# 山内容堂

150 YEARS  
AFTER THE DEATH OF YODO YAMAUCHI  
～鯨海酔侯の見た幕末維新～  
令和4年(2022)  
9.17(土) 12.11(日)  
前期 9月17日(土)～10月30日(日)  
後期 11月2日(水)～12月11日(日)  
展示替休室/10月31日(月)・11月1日(火)

会期中、前期・後期で資料を全点入れ替え

**前期** 9.17.10.30  
「公武合体」  
実現に  
駈けた日々  
藩主就任から一橋派の一員として  
將軍継嗣問題に関わった安政年間、  
隠居謹慎を経て  
再び政界に復帰する  
文久年間にかけての資料を展示します。

**後期** 11.2.12.11  
報恩と  
勤王の  
狭間で  
江戸幕府倒壊を目前に、  
息詰まる駆け引きが繰り広げられた慶応年間。  
大政奉還前後の動向を伝える政治資料を中心に、  
明治2年の政界引退、  
晩年に至るまでの容堂関係資料を展示します。



# 企画展 土佐藩歴代藩主展 記念講演会

企画展「土佐藩歴代藩主展」の関連行事として、7月17日(日)に「軍事面から見た山内一豊・忠義」という題目で名城大学非常勤講師の長屋隆幸先生にご講演いただきました。

長屋先生には著書『山内一豊・忠義』の内容も踏まえつつ、土佐藩の基礎を築いた初代藩主山内一豊、2代藩主山内忠義についてお話いただきました。

一豊については、彼の戦闘エピソードでは自身も負傷しながら敵を倒していることから、「肉を切らせて骨を断つ」戦闘スタイルであったとし、あまり戦いが得意ではなかったこと。また、土佐一国を拝領した当初は9万8千石であった石高を後に20万石と幕府へ申請した理由として、従来言われてきた「四国一の家格を誇るため」という家格上昇を目的としたものではなく、2倍の軍役を負うことで幕府へ忠誠を示すことにより、山内家という「家」の存続を願い、養子で幼少の忠義への家督相続が無事に行われるようにするためにあったことなどを紹介されました。

忠義については、一豊から引き継いだ20万石という莫大な軍役負担が重荷となっていたこと。また、大坂の陣での土佐藩の失態が、その後の過度な軍役負担を助長し、これによって土佐藩が財政的に窮乏したというお話をしていただきました。その他、忠義の治世で取り立てられた当初の郷士は、士格(上級武士)として登用されたという興味深いお話も紹介されました。

講演会で一豊と忠義について学んだ後に企画展をご観覧いただいた方には、より一層楽しんでいただけたのではないかと思います。

資料学芸課 学芸員 水松啓太



# 地域連携 3年ぶりに参加した「土曜夜市」

7月に開催された土曜夜市に参加しました。高知市中心商店街が主催するこのイベントは、商店街アーケードを会場に、射的・輪投げ・ヨーヨー釣りなどの「お祭り出店」がずらりと並び、今年で48回目を数える夏の風物詩です。

当館では、館が立地する中心市街地や商店街との連携を深める事業として、また館のPR活動の一環として、開館以来参加しています。今年は、歴代藩主と関連づけたピー玉転がしゲームと、オリジナル提灯づくりのワークショップを行いました。どちらも順番待ちの行列ができるほど盛況で、たくさんのご家族連れにご参加いただきました。

土曜夜市は過去2年間、新型コロナウイルスの影響から、中止または規模縮小での開催とされ、当館も参加できませんでした。今回は、感染対策を行った上での久しぶりの「通常開催」が実現し、来場された方は多くの出店に立ち寄りながら夜市を満喫している様子で、マスク越しにも皆さんの笑顔が伝わってきました。私たちスタッフも、3年ぶりの土曜夜市の雰囲気と、参加者や地域の皆さんとの交流を楽しむことができました。

少しずつ賑わいを取り戻しつつある中心市街地。当館は、今後もこの街の一員として、地域の行事や取り組みに積極的に参加していきたいと思っています。

地域企画課 企画員 筒井聡史



# 総合展示室 第2期 7月15日(金)～9月26日(月)

**ピックアップ** 百鬼夜行絵巻  
山内家に伝わった百鬼夜行絵巻(「異怪図」)。道具の妖怪たちの生き生きとした姿をお楽しみください。

2 大名道具と土佐の文化



# 総合展示室 展示情報 歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力満喫

# 総合展示室 第3期 8月5日(金)～10月10日(月・祝)

**ピックアップ** 坂本龍馬書状 乙女宛  
龍馬が姉の乙女に送った手紙。江戸幕府を「ねぶと」(腫れ物)にたとえ、今はまだ倒幕の時期ではないことを暗に伝えたものと推測されています。龍馬の大胆かつユーモアのある人柄がうかがえる手紙です。

1 土佐藩の歴史

